

和書門			
二五九二	九二	八二	三〇
號	函	架	冊

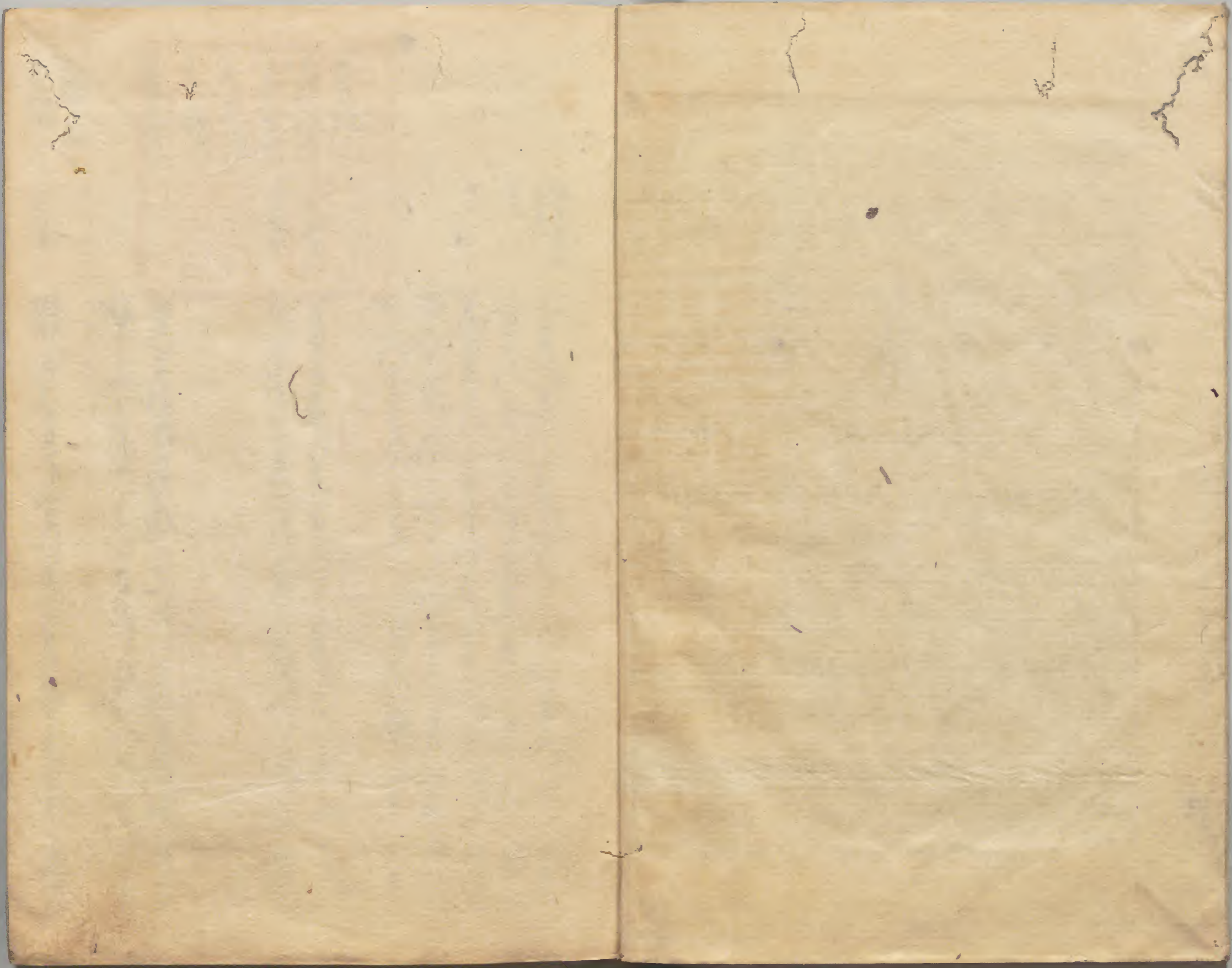
內閣文庫		和書類	
二五九二	九二	三〇	冊
號	函	架	冊

內閣文庫	
番號	和 25592
冊數	30 (4)
函號	201 15

新類題和歌集

春之上之下
四





春の日は

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

春の日は 陸奥集

水 陸奥集

河 陸奥集

湖 陸奥集

山 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

水 陸奥集

河 陸奥集

湖 陸奥集

山 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

似花 陸奥集

西中張島 新島首

遠見 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

西中張島 新島首

遠見 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

新島首
日九二五
〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃

鄂強名

二馬九

Handwritten cursive text in vertical columns, likely a list or record.

鄂強

鄂強

二馬九

二馬九

鄂強

熱路

水色

二馬九

二馬九

二馬九

二馬九

二馬九

二馬九

二馬九

Main body of handwritten cursive text on the left page, organized in vertical columns.

庭強毛

口 拾
故郷
古郷
古郷
古郷

Handwritten cursive text in the right column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛
古郷
古郷

古郷

古郷

Handwritten cursive text in the middle column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛

古郷
古郷
古郷

Handwritten cursive text in the left column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛

古郷
古郷
古郷

Handwritten cursive text in the middle column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛

古郷

Handwritten cursive text in the left column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛

古郷

Handwritten cursive text in the middle column of the top page.

古郷
古郷
古郷

庭強毛

古郷

Handwritten cursive text in the left column of the top page.

古郷
古郷
古郷

ラケクオクニシツクナクニノナニクニ
クニナクニノナニクニノナニクニ
クニナクニノナニクニノナニクニ
クニナクニノナニクニノナニクニ
クニナクニノナニクニノナニクニ

松岡誠名

松岡誠

松岡誠

カキ

カキ
カキ
カキ

カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ

楮 〃 〃
樹陰 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

白葉

白葉

〃

〃

氷溜

白葉

多溜

白葉

〃

白葉

〃

白葉

〃

白葉

〃

白葉

〃

白葉

カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ

カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ
カキノナニクニノナニクニ

金在中

五葉菜

Handwritten Latin text

曉

五葉菜

Handwritten Latin text

朝

Handwritten Latin text

秋

五葉菜

Handwritten Latin text

山

五葉菜

Handwritten Latin text

溪

Handwritten Latin text

湖溪

五葉菜

Handwritten Latin text

池

五葉菜

Handwritten Latin text

湖

五葉菜

Handwritten Latin text

湖

五葉菜

Handwritten Latin text

里

五葉菜

Handwritten Latin text

山

五葉菜

Handwritten Latin text

閑

五葉菜

Handwritten Latin text

尋

五葉菜

Handwritten Latin text

暗江守物
梅の葉
依の葉

栽

栽待層

若木

花樹
こ未用
こ始用
こ花始用
若木始用

大徳寺
大徳寺

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

日
日
日

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

初
新
初
初

初
初
初
初

文の字
日九十三
文の字
日九十三
文の字
日九十三

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の
梅の葉の

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

其の

梅頭花

と

と花威

と威用

と花威用

と花威久

と花久盛

返身威

見

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

五三三集

五三三集

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

散花

五三三集

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

毎花

多花

月花

五三三集

五三三集

五三三集

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

五三三集

五三三集

五三三集

花の香をいそいで花の香をいそいで

名中物

香子
香葉
香葉
口
香葉
口
香葉

香子の香は花の香より濃く
香葉の香は花の香より淡く
香子の香は花の香より清く
香葉の香は花の香より濁く
香子の香は花の香より高く
香葉の香は花の香より低く
香子の香は花の香より長く
香葉の香は花の香より短く
香子の香は花の香より遠く
香葉の香は花の香より近く
香子の香は花の香より静く
香葉の香は花の香より騒ぐ
香子の香は花の香より閑く
香葉の香は花の香より忙しく
香子の香は花の香より閑く
香葉の香は花の香より忙しく

香中花
香中葉
香中果
香中子
香中根
香中茎
香中葉
香中果
香中子
香中根
香中茎

香中の花は花の香より濃く
香中の葉は花の香より淡く
香中の果は花の香より清く
香中の子は花の香より濁く
香中の根は花の香より高く
香中の茎は花の香より低く
香中の葉は花の香より長く
香中の果は花の香より短く
香中の子は花の香より遠く
香中の根は花の香より近く
香中の茎は花の香より静く
香中の葉は花の香より騒ぐ
香中の果は花の香より閑く
香中の子は花の香より忙しく
香中の根は花の香より閑く
香中の茎は花の香より忙しく

香中葉

香中の葉は花の香より濃く
香中の葉は花の香より淡く
香中の葉は花の香より清く
香中の葉は花の香より濁く
香中の葉は花の香より高く
香中の葉は花の香より低く
香中の葉は花の香より長く
香中の葉は花の香より短く
香中の葉は花の香より遠く
香中の葉は花の香より近く
香中の葉は花の香より静く
香中の葉は花の香より騒ぐ
香中の葉は花の香より閑く
香中の葉は花の香より忙しく
香中の葉は花の香より閑く
香中の葉は花の香より忙しく

香中花
香中葉
香中果
香中子
香中根
香中茎
香中葉
香中果
香中子
香中根
香中茎

香中の花は花の香より濃く
香中の葉は花の香より淡く
香中の果は花の香より清く
香中の子は花の香より濁く
香中の根は花の香より高く
香中の茎は花の香より低く
香中の葉は花の香より長く
香中の果は花の香より短く
香中の子は花の香より遠く
香中の根は花の香より近く
香中の茎は花の香より静く
香中の葉は花の香より騒ぐ
香中の果は花の香より閑く
香中の子は花の香より忙しく
香中の根は花の香より閑く
香中の茎は花の香より忙しく

香中花
香中葉

毎事揚善

之書札

之香何方

之文松方

諸集

日

日

毎事揚善の書札の香何方の文松方の諸集

海濱自筆の海濱の松方の香何方の文松方の諸集

山魁之書 山路之書 雅歌音

園

之

海濱自筆の海濱の松方の香何方の文松方の諸集

雨申之書

無揚集

海濱自筆の海濱の松方の香何方の文松方の諸集

雨申之書

無揚集

海濱自筆の海濱の松方の香何方の文松方の諸集

雨申之書

無揚集

海濱自筆の海濱の松方の香何方の文松方の諸集

物吉物多
宿坊芝芝

暗夜
夜夜

油灰
香

白
有也香

草集

寶曆十
日

草集

徳吉社

4

口

五箇
香

物吉物多
宿坊芝芝

暗夜
夜夜

油灰
香

白
有也香

路
行路

香坊路

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

Handwritten text in vertical columns, likely a list or journal entries, corresponding to the dates above.

海名梅 幸直

湖色之花

王直集

松尾

浦の梅は花の白く梅の葉は緑なり

湖の梅は花の紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

海名梅

王直集

遠村梅

松尾

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅名

松尾

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

梅の花は白く梅の葉は緑なり

梅の花は紅く梅の葉は緑なり

社匠梅

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

社匠と云

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

坂口と云

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

坂口と云

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

古宅と云

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

山家と云

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

家集

梅の香のさかすかしのさかすかのさかすか

山家梅と云

山家梅と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

山家と云

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

家集

子

梅の根は土に深く入りて其の枝は空高く伸びて花は春の風を待たずして咲く。梅の葉は冬に落ち、春になると新しい葉が生え、梅の香りは遠くまで漂う。

五文

梅

梅

梅

梅

梅

梅

田舎

田舎

田舎

田舎

田舎

田舎

田舎

田舎

大北に
大北に
大北に

梅の根は土に深く入り、その枝は空高く伸び、花は春の風を待たずして咲く。梅の葉は冬に落ち、春になると新しい葉が生え、梅の香りは遠くまで漂う。梅の根は土に深く入り、その枝は空高く伸び、花は春の風を待たずして咲く。梅の葉は冬に落ち、春になると新しい葉が生え、梅の香りは遠くまで漂う。

蒼梅

花葉

口

4

口

白梅葉

花葉

一人言

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

蒼端
蒼言
蒼外
定

花葉

口

口

口

定

... ..

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

定下物

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

石山 日
此の御所の御所御所の御所御所
此の御所の御所御所の御所御所
此の御所の御所御所の御所御所

物音の御所
之御所御所
之御所御所
之御所御所
御所御所
御所御所

依待人
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

之御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

御所御所
御所御所
御所御所
御所御所

梅香梅柳

梅香

梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば

梅香

梅香

梅香

梅香
梅柳

梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば

梅香

梅香

梅香

梅香

梅香
梅柳

梅香

梅香

梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば

梅香

梅香
梅柳

梅香

梅香

梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば
 梅香の香をば
 梅柳の香をば

梅香

梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 嘉慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

～ 延慶水

～ 梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

～ 延慶水

～ 梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

～ 延慶水

～ 梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

～ 延慶水

～ 梅屋浮水

～ 延慶水

～ 萬曆水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 同治水

～ 咸豐水

～ 道光水

～ 宣統水

～ 隆慶水

～ 萬曆水

～ 延慶水

壽梅堂流

必不白

白

白

白

白

白

紅

紅

紅

雨

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

雪梅の如く梅の如くして朝露をまじふの風
春のあまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

梅堂不実
柳糸新

多保部

多保部

月あ

風

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

天授十一年

家集

雪梅の如く梅の如くして朝露をまじふの風
春のあまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風
あまの夜のあまの露をまじふの風

天授十一年
家集
天授十一年
家集
天授十一年
家集
天授十一年
家集
天授十一年
家集

青柳 古集

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青風 静

青柳の葉はなほ青くして

柳の葉はなほ青くして

柳の葉はなほ青くして

柳の葉はなほ青くして

色雨中 古集

雨後 日

色雨中 古集

色雨中 古集

色雨中の柳はなほ青くして

柳會
似可

似煙

似集
紅塵
五五
日七

擊
似眉

髮

經年

烟

枝
柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

夕

柳

夕

古

夕

遠

柳

遠

夕
夕
夕

夕
夕
夕

夕
夕
夕

柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

柳の葉は風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す
柳の葉は
風に揺られ
春の訪れを告げる
柔らかなる葉の
色は
心癒す

五九
五九
五九
五九
五九

柳のたのしみ風
さくらさくら柳のたのしみ風
さくらさくら柳のたのしみ風
さくらさくら柳のたのしみ風
さくらさくら柳のたのしみ風

杜柳

五九

柳のたのしみ風

原

五九

柳のたのしみ風

路

五九

柳のたのしみ風

橋

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

橋

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

五九

柳のたのしみ風

水古柳

日三十五
日三十一
日二十六
百廿六

柳映水

水景

柳水

水景

文水

水景

交水

水景

池

水景

水古柳の水景は、古くより人々に愛されてきた。その風景は、静寂と優美を兼ね備えている。春の訪れとともに、柳の緑が水に映り、美しい光景を演出する。

水景の美しさは、自然の恵みである。水は生命の源であり、その清らかな姿は心を癒やしてくれる。水と柳の組み合わせは、日本の伝統的な美意識を体現している。

水景は、静寂と優美を兼ね備えている。水は生命の源であり、その清らかな姿は心を癒やしてくれる。水と柳の組み合わせは、日本の伝統的な美意識を体現している。

水景の美しさは、自然の恵みである。水は生命の源であり、その清らかな姿は心を癒やしてくれる。水と柳の組み合わせは、日本の伝統的な美意識を体現している。

水景は、静寂と優美を兼ね備えている。水は生命の源であり、その清らかな姿は心を癒やしてくれる。水と柳の組み合わせは、日本の伝統的な美意識を体現している。

橋

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

水景

411

海老柳 草葉

海村

湖色

鴻

渡

渡色

峯

海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は

草葉

日

草葉

日

日

日

412

海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は
海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は

日

西堀集

海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は
海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は

岸柳葉像

岸柳葉系

夕景

岸の波

岸の柳

堤

海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は

海老柳の葉は白く花は赤く
花は入る柳の葉は白く花は赤く
胡夕也 (Hirakawa) の柳の葉は

文藝三巻
大田三巻
水田三巻
点丸

境色柳
と
天文八之冊
三書

昔中守

昔中守

昔中守

古寺
と
最奈

坂口
と
昔中守

坂口
と
昔中守

水口
と

山友
と
津波

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

田
と
昔中守

田
と
昔中守

田
と
昔中守

田
と
昔中守

田
と
昔中守

田
と
昔中守

隣
と
昔中守

昔中守
昔中守
昔中守

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く
昔中守の御書に云く昔中守の御書に云く

法相黄栌柳
縁草
庭草花環
西中野系
草樹邊
老草樹縁
胡荽草

庭草花環
西中野系
草樹邊
老草樹縁
胡荽草

胡荽草
老草樹縁
草樹邊
西中野系
庭草花環
縁草
法相黄栌柳

庭草花環
西中野系
草樹邊
老草樹縁
胡荽草

同荽草
杜荽草
老草樹縁
野草花環

野草花環
老草樹縁
杜荽草
同荽草

野荽草
野外荽草
地運荽草
野荽草
路荽草

野荽草
野外荽草
地運荽草
野荽草
路荽草

水辺荽草
磯荽草
坂上荽草
山中荽草
庭荽草

水辺荽草
磯荽草
坂上荽草
山中荽草
庭荽草

塙根若草

和名ニサエ

塙根若草は花は白く葉は青く、

名不々々
春 草

指送
和名ニ
ニサエ

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

花は白く葉は青く、

老風之又生
和名ニ
ニサエ

老風之又生
和名ニ
ニサエ

老風之又生は花は白く葉は青く、

老風之又生

和名ニ
ニサエ

老風之又生

老風之又生は花は白く葉は青く、

老風之又生

和名ニ
ニサエ

老風之又生

老風之又生は花は白く葉は青く、

老風之又生

老風之又生は花は白く葉は青く、

雨中之

泉温之

胡才之

多之

園之

園之

杜向之

和名ニ
ニサエ

雨中之は花は白く葉は青く、

泉温之は花は白く葉は青く、

胡才之は花は白く葉は青く、

多之は花は白く葉は青く、

園之は花は白く葉は青く、

園之は花は白く葉は青く、

杜向之は花は白く葉は青く、

和名ニ
ニサエ

星野村

野分

野分

行路

續押所

日

日

日

Handwritten text in Kuzushiji script, corresponding to the place names listed on the left.

推石

池

沼

沢

Handwritten text in Kuzushiji script, corresponding to the place names listed on the left.

湖

沢

Handwritten notes

Handwritten text in Kuzushiji script, corresponding to the place names listed on the left.

Handwritten notes

Handwritten text in Kuzushiji script, corresponding to the place names listed on the left.

村

日

Handwritten text in Kuzushiji script, corresponding to the place names listed on the left.

乙字草科

田名 乙

園 乙

蕨

草葉

葉中葉

乙字草

葉中葉

葉中葉

乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

甲 蕨

草葉

乙字草

乙字草

乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

草葉

乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

乙字草

草葉

乙字草

乙字草

乙字草

乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

葉中葉 乙字草 乙字草

峯 早 蕨

五集

中集

紅葉集

谷

溪

園

名子

信立社
紅葉集
口
夫の字

山畑より一穂のふもひさきおのほろも
後人のむらゝぬの子鹿やうまのまのりもらん
たのむ葉のまゆ先をわけてはらうらぬまのさ鹿
まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
後人のむらゝぬの子鹿やうまのまのりもらん
たのむ葉のまゆ先をわけてはらうらぬまのさ鹿
まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
今にまのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
誰か今まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん

園

麓

林
林
野

紅葉集
五十二天
紅葉集
下
紅葉集
紅葉集

おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
誰か今まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
今にまのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
誰か今まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
今にまのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
誰か今まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
今にまのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
誰か今まのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん
おのりよむ葉のむらむらひのりもひらひらん

節徑早蕨

野乃々々

路々々

行路々

名根早蕨

樹陰々

樹陰々

柳々逢友

梅々逢友

苦梅山々

待々月

憐々月

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

月節慶

々葉

~~~~~

~~~~~

名節中

名節同

~~~~~

~~~~~

名節

~~~~~











藤原集  
卷之三  
由美

独見

百

日

惜  
言

出集

天久十二  
大

昔

天久十二  
大

昔

天久十二  
大

名

天久十二  
大

不明  
月

春

春

春

天久十二  
大

春

春

春

天久十二  
大

春

天久十二  
大

天久十二  
大

藤原集  
卷之三  
由美

独見

百

惜  
言

昔

昔

昔

名

不明  
月

春

春

春

天久十二  
大

春

春

春

天久十二  
大

春

天久十二  
大

天久十二  
大







五箇年  
諸撰

芸朝面  
橋紙

夜去面  
百々

百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

五箇年  
諸撰  
芸朝面  
橋紙  
夜去面  
百々  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日  
此の書は  
五箇年  
諸撰  
芸朝面  
橋紙  
夜去面  
百々  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日  
此の書は  
五箇年  
諸撰  
芸朝面  
橋紙  
夜去面  
百々  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

芸朝面  
夜去面  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

此の書は  
五箇年  
諸撰  
芸朝面  
橋紙  
夜去面  
百々  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日  
此の書は  
五箇年  
諸撰  
芸朝面  
橋紙  
夜去面  
百々  
百々  
子々  
一箇百々  
二箇百々  
續撰  
日

橋紙  
夜去面

杜井雨

○  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea  
Dobun rain to the sea

杜下

○  
Doshita

Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita  
Doshita

修羅所

河

○  
Kawa

Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa  
Kawa

海

○  
Umi

Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi  
Umi

田

○  
Ina

Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina  
Ina

杜

○  
Dobun

Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun

杜

○  
Dobun

Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun  
Dobun

坂

○  
Saka

Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka  
Saka

水

Handwritten Latin text on the right side of the page, starting with "Aquas".

水

水

水

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

水

水

水

水

水

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Main handwritten Latin text on the right side of the page.

水

水

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Handwritten Latin text corresponding to the vertical column on the left.

Main handwritten Latin text on the left side of the page.

水  
水  
水

臨作

草書

落梅

日

百

百

臨作の草書は、筆勢が非常に激しく、墨の濃淡がはっきりと出ています。文字の形も非常に簡潔で、力強い印象を与えます。

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書の筆遣いは、非常に流暢で、文字と文字の間が繋がっています。墨の濃淡が、文字の立体感を出しています。

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書の筆遣いは、非常に流暢で、文字と文字の間が繋がっています。墨の濃淡が、文字の立体感を出しています。

草書

草書

草書

草書

草書

草書

草書の筆遣いは、非常に流暢で、文字と文字の間が繋がっています。墨の濃淡が、文字の立体感を出しています。



晴天  
お茶

晴天の晴れ渡る空の下に  
お茶を飲む

遠く  
お茶

遠く  
お茶

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

晴天  
お茶

晴天の空は青く  
お茶を飲む

分和油丁

暗夜

海夜

一人言

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

海夜

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

海夜

海夜

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

Handwritten text in cursive script.

海夜

海夜

Handwritten text in cursive script.



海軍

海軍の発展は国家の富強に資するものなり  
海軍の整備は国家の安全を保障するものなり  
海軍の増強は国家の威光を顕著するものなり

山崎

野外

橋

橋

水

江

河

海

海軍  
山崎  
野外

海軍の発展は国家の富強に資するものなり  
海軍の整備は国家の安全を保障するものなり  
海軍の増強は国家の威光を顕著するものなり

海軍

海軍の発展は国家の富強に資するものなり  
海軍の整備は国家の安全を保障するものなり  
海軍の増強は国家の威光を顕著するものなり

海軍  
海軍

日

日

日

日

湖

湖の発展は国家の富強に資するものなり  
湖の整備は国家の安全を保障するものなり  
湖の増強は国家の威光を顕著するものなり  
湖の発展は国家の富強に資するものなり  
湖の整備は国家の安全を保障するものなり  
湖の増強は国家の威光を顕著するものなり  
湖の発展は国家の富強に資するものなり  
湖の整備は国家の安全を保障するものなり  
湖の増強は国家の威光を顕著するものなり



西丁似舟

ここ似字 葉集

ここ成字 舟

ここ文字 舟集

ここ不駐

ここ稀 賦學歌

ここ衝稀

ここ夕 五言 五言 五言 五言

惜ここ 五言 五言 五言 五言

強中ここ

強行ここ 舟集

強宥ここ 口

強泊ここ

舟の似字の葉集

舟の成字の舟

舟の文字の舟集

舟の不駐

舟の稀

舟の衝稀

舟の夕

舟の惜

舟の強中

舟の強行

舟の強宥

舟の強泊

首春有去丁

雁勝呼子鳥 強教音

首春有去丁の強教音

名有ここ 舟集

舟集

舟集

舟集

舟集

舟集

名有の強教音

玄駒嘶

雨中

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

原

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

野介

夫木  
玄駒嘶

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

夫木

澤

夫木  
玄駒嘶

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

玄駒嘶

河邊

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

夫木

玄駒嘶

海邊

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

玄駒嘶

望

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

玄駒嘶

古

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

玄駒嘶

遠見

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

玄駒嘶

遠見

夫木

あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく  
あはれおのこねたむらさき  
はらへんきくはらへんきく

十部調子

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

節子調子

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

雜子

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

西中雜

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

園雜

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

長巻雜

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

原

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

山路

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

山路

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

節子

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹

長巻

音韻集

あはるくまのうらなひのこころをたのむ

祐紹



雲雀消新

雨中 二二 新書

期 二二 古書

日 古書

日 古書

二二 楊

日 古書

二二 池

日 古書

路 二二 二二

日 古書

二二 二二

日 古書

二二 二二

二二 二二

日 古書

Handwritten text in cursive style, likely a letter or diary entry, starting with '雨の中'.

Handwritten text in cursive style, continuing the entry, starting with '期'.

Handwritten text in cursive style, starting with '池'.

Handwritten text in cursive style, starting with '路'.

Handwritten text in cursive style, starting with '二二'.

鳴りこころ  
暁こころ  
りこころ

全巻  
百

鳴りこころの  
暁こころの  
りこころの  
全巻  
百

大

大

無  
所

無  
所

洞こころ  
林こころ  
山こころ  
暮あこころ

洞  
林  
山  
暮あ

洞  
林  
山  
暮あ

山こころ  
谷こころ  
谷中こころ

山  
谷  
谷中

山  
谷  
谷中

晩  
秋

晩  
秋

晩  
秋

洞  
林  
山  
暮あ

洞  
林  
山  
暮あ

洞  
林  
山  
暮あ



